



家庭学習の手引き

小学校の学習は、社会人として将来自立するための基礎となるものです。とくに「読むこと」「書くこと」「計算すること」などは、欠かすことのできない「生きるための力」です。
 学校では、一斉指導だけでなく個別指導やTT（ティーム・ティーチング）など、「個に応じた指導」の取り組みなどを通して、基礎学力を高めるための努力をしていますが、ご家庭と協力することにより、さらにその力が何倍にも高められます。
 よりよい家庭学習の習慣化に向けて、この手引きをよく目にする場所に貼っていただき、お子様の学力向上にお役立てください。



1. 家庭での学習を習慣化しよう

◆ 学習時間のめやす

- 1・2 学年 …… 30分以上
- 3・4 学年 …… 45分以上
- 5・6 学年 …… 1時間以上

※ 学力アップは規則正しい生活から

- 早寝（8時から9時30分までに寝る）・早起き
- 朝食は必ずとる。
- 朝の排便
- 自分で時間割や学習用具をそろえる。
- 家に帰ったら、早めに宿題をすませる。
- テレビやゲームは1日、2時間以内に！

※ 学習の大切なポイント

- ・勉強する時は、テレビを消す。
- ・よい姿勢で学習する。
- ・机の上を、きれいにかたづける。



2. 家庭学習の参考例（各学年共通）

国語 ・漢字練習・意味調べ・全文書き取り
 ・読書・音読・視写・日記など

算数 ・計算練習・百ます計算・文章問題
 ・テストでまちがえた問題をもう一度ノートに写して解いてみる。

社会・理科・生活科など
 ・勉強したところに関係がある事から本や辞典などで調べてまとめる。

市販のドリルや問題集、自主学習や読書などに進んで取り組むこともいいでしょう。

3. 各学年で身につけたい力

習慣づけの1年生

- ① ひらがな、かたかなが読めて書ける。
- ② 80字の配当漢字のすべてが読め、8割程の漢字が書ける。
- ③ 教科書がすらすら読める。
- ④ 助詞（て、に、を、は）を適切に使って文章が書ける。
- ⑤ えんぴつを正しくもって字が書ける。
- ⑥ たし算・ひき算ができる。

習慣が定着しはじめる2年生

- ① 160字の配当漢字のすべてが読め、8割程の漢字が書ける。
- ② 教科書がすらすら読める。
- ③ 順序よく話をするができる。
- ④ 九九がすらすら言える。
- ⑤ たし算とひき算の筆算ができる。
- ⑥ 決められた長さの直線が正しく引ける。

分岐点をのりこえる3年生

- ① 200字の配当漢字のすべてが読め、8割程の漢字が書ける。
- ② 国語辞典を使って言葉を調べられる。
- ③ 筋道を立ててわかりやすく話したり、書いたりすることができる。
- ④ コンパスを使って簡単な図形が描ける。
- ⑤ かけ算の筆算ができる。
- ⑥ 重さをはかり、表すことができる。
- ⑦ 一億の位までの数を読んだり、書いたりすることができる。

「9才の壁」を破る4年生

- ① 202字の配当漢字のすべてが読め、8割程の漢字が書ける。
- ② 国語辞典や漢和辞典を正しく使える。
- ③ わり算の筆算ができる。
- ④ 文章題の意味が分かり、式をたてることができる。
- ⑤ 分度器を使って正確に角度を測り、簡単な図形が描ける。
- ⑥ 地名が調べられ、47都道府県を覚えられる。

学力向上は 家庭学習の 習慣化から



学力の差がつく5年生

- ① 193字の配当漢字のすべてが読め、8割程の漢字が書ける。
- ② 習った漢字を使った熟語の8割程が書ける。
- ③ 小数のかけ算・わり算ができる。
- ④ 分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑤ 割合・百分率を使った問題が解ける。
- ⑥ 47都道府県の位置がわかり、正しく書ける。



進学に希望をもたせる6年生

- ① 小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、8割程の漢字が書ける。6年生の配当漢字は191字。
- ② 様々な文章の内容をとらえながら読み、自分の考えをもち、表現することができる。
- ③ 分数のたし算やひき算・かけ算・わり算ができる。
- ④ 比や比例の考え方をを使った問題が解ける。
- ⑤ 歴史上の事件や人物について、だいたい分かる。
- ⑥ 世界のおもな国々の位置を、正しく示すことができる。
- ⑦ 理科の基本的な原理や法則が分かり、実験道具の正しい使い方を知っている。

生活の中で心がけたいこと

- 読書は「見えない学力」を高めるので、進んで本を読もう。
- 国語辞典や漢字辞典、その他の辞典類を身近に置いて調べよう。
- 日本地図や世界地図を身近なところに置いて調べよう。
- ニュース番組を親子で見ると話合おう。新聞を読もう。
- いろいろな本を読み、書いてあることを読みとろう。
- 自然や生き物とふれあい、くわしく観察してみよう。
- できるだけ外遊びや運動をして、体力を高めよう。
- 家の手伝いを、進んでしよう。
- 「早寝、早起き、朝ご飯」など、規則正しい生活をしよう。

